

ネパールの低所得地域における映像教育を活用した理数教師の指導力向上と生徒の学力向上に向けた仕組みづくり（2021年～2025年）

ICTで誰もが最高の教育を受けられる環境を！

■ 実施団体：

特定非営利活動法人e-Education

■ 対象国・地域：

ネパール国 バグマティ州

■ 現地カウンターパート

Kids of Kathmandu（現地NGO）



■ 協力内容：

山岳部等の低所得地域の中学校18校を対象に、以下の活動を実施した。

- ◆ 理数科の映像教材・映像教材作成マニュアルの作成
- ◆ 理数教師向けワークショップの開催を通じた映像教材の活用方法と好事例の共有
- ◆ 映像教材導入後の生徒の学習効果の測定・分析結果に基づく教材の改訂および映像教材導入ガイドラインの作成
- ◆ 州規模カンファレンス開催、全国展開に向けたアクションプランの作成

■ 団体のこれまでの取り組み：

「途上国の子どもの教育格差」をなくすために、ICTを活用して教育機会の提供と中学校教師の人材育成を支援している。2010年にバングラデシュで活動を開始、フィリピン、ミャンマー、ネパールなど延べ14カ国、さらに日本でも教育支援を行っている。

■ 事業実施の背景：

ネパール国政府は、1999年に「教育セクター全体開発計画」を策定し、教育開発を国家の優先課題としている。教育科学技術省は、経済・地域格差による教育機会の不均衡の是正に取り組んでいる。理数科は、国内の格差是正に加え、国全体の底上げにも必要であるが、特に中等教育に関する施策の遅れが課題である。

ネパール国の課題と成果

課題① 授業効果を高める教材および効果的な指導方法を習得した教師が不足している。

成果① ICT教材の作成・活用研修を受けた教師により理数科の映像教材が完成、モデル校へ導入された。（計204本の動画をYouTubeで公開済み）結果、映像教材を活用した大半のモデル校における中等教育修了試験(SEE)合格率の向上(≒理数科目の学力向上)を確認できた。

課題② 好事例やモデル校のノウハウを他の学校へ普及する自治体の仕組みおよび全国展開に向けた実施体制が構築されていない。

成果② 中等教育改革のキーパーソン（教育省教員研修担当官、自治体首長、モデル中学校校長・理数教師等）が本邦研修へ参加した。帰国後に中央政府レベルの関係者会議を開催し、自治体レベルの教育施策を共創する仕組みを構築した。

事業の波及効果

！ 日本のICT支援員をモデルにした制度の導入

- ・本邦研修（群馬県吉岡町）で学んだ日本のICT支援員制度に倣い、対象自治体が独自予算を確保、モデル校へICTファシリテーターによる支援制度が導入された。

！ 教員研修のハイブリッド化

- ・映像教材作成や学校導入の手法を学ぶ教員研修を実施した。教育省が推進する研修のハイブリッド化に挑み、対面とオンラインを混ぜた新しい研修モデルを構築した。